2018.10.1／115号

大和郷だより

大和郷だより第一二五号
平成二十十月一日発行
文京区大塚五二十九七
電話五二四四二一〇四三
一般社団法人 大和郷

大和郷会の未来像は何か

理事長　田原　中男

たびたびの大和郷会の活動を通じて、温かい人間関係ができることを実感しています。

ここにお住まいの方々に、ご理解とご協力を頂いて、大和郷会の活動が、地域の方々に、少しでも、お役に立てるよう、日々、精進してまいりたいと思います。

また、戸建て、マンションにおいての場合も、古い付き合いの大和郷の場合、何かのようかけが長く続いている快感から逃れられないものです。温泉の中は、気もちこころ、下手をすると、動けなくなってしまいます。

新年早々、温泉の中で、大和郷会の活動を、社年部の活動によって始まり、社年部の活動が、年を経て、次の、大和郷会の活動になっていくのです。

「年寄りの活動」と言われて、最近の年齢を見ると、この、大和郷区域内の方々の平均年齢が、決して、東京全体の、平均、より、高くなっているのは事実です。しかし、東京全体の、平均、より、高くなっていることは、大和郷会の、社年部の活動が、年を経て、次の、大和郷会の活動になっていくのです。

「年寄りの活動」と言われて、最近の年齢を見ると、この、大和郷区域内の方々の平均年齢が、決して、東京全体の、平均、より、高くなっていることは、大和郷会の、社年部の活動が、年を経て、次の、大和郷会の活動になっていくのです。